

ふれあい

ご自由に
お持ちください一般財団法人
やまとコミュニティホスピタル
光ヶ丘スペルマン病院

Vol.24

特集記事

認

定

看

護

師

つ

て

ど

ん

な

看

護

師

?

当院のビジョン

「わたしは、こう生きたい」を実現する

新年明けましておめでとうございます

病院長 志村 早苗

皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より光ヶ丘スペルマン病院の運営に対しまして、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、当院のホスピスは25周年を迎えました。当院の緩和ケア病棟（ホスピス病棟）は、宮城県内では初となり、市民グループ「ホスピス設置を願う会」の長年に渡る活動が実を結び1998年5月に開設されました。25年という長い年月の間に多くの出会い、別れを経て患者さん、ご家族、地域の皆様に育てていただきました。人の命の尊さ、限られた時間を一緒に過ごすことの大切さを心に刻みながらこれからも日々の業務に当たっていく所存でございます。

本年も職員一同気を引き締め、患者さん・ご家族の皆様の理解・協力をいただき、さらなる医療の質向上と地域の皆様に安心していただける医療を提供してまいります。どうか本年も、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

認定看護師ってどんな看護師？

そもそも認定看護師ってどんな看護師？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は認定看護師としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格を更新しています。2022年12月現在、23,260人の認定看護師が全国で活動しています。

当院の看護部には、社団法人日本看護協会が認定した認定看護師が3名おります。その知識と技術を活かし、患者さんご家族に質の高い看護を提供できるよう活動しています。



緩和ケア認定看護師 主任:荻野 久美子(2019年取得)

患者さんはお身体以外にも気持ちの辛さを抱えているといわれています。患者さんやご家族が抱えている辛さが少しでも軽減できるよう努めさせていただきます。そして、入院生活の中でも患者さんがその人らしく過ごせるよう、お手伝いさせていただきます。

がん性疼痛看護認定看護師 高橋 真樹(2005年取得)

がん患者さんご家族にとっての痛みは、身体にも精神的にもつらい経験だと考えます。患者さんやご家族とよく話し合い、痛みの辛さ、気持ちの辛さなどを少しでも軽減でき、その人らしく生活できるよう支援させていただきます。



認定看護分野にはどんなものがあるの？

認定看護師制度は2020年度から、特定行為研修を組み込んだ新制度に移行し、従来の21分野から19分野に再編されました。

19
の
認
定
看
護
分
野

クリティカルケア	緩和ケア	がん薬物療法看護
在宅ケア	生殖看護	腎不全看護
摂食嚥下障害看護	小児プライマリケア	脳卒中看護
呼吸器疾患看護	心不全看護	皮膚・排泄ケア
感染管理	糖尿病看護	新生児集中ケア
手術看護	乳がん看護	認知症看護
がん放射線療法看護		

わたしのおしごと

院内の様々なお仕事について
ご紹介するコーナー

緩和ケア認定看護師

緩和ケア病棟看護師長
佐藤 あづさ(2009年取得)



Q. なぜ認定看護師になろうと思ったのですか？

A. 緩和ケア病棟で3年間働いたものの一度離職しました。しかし、やはり緩和ケア病棟で働きたいという気持ちが強く2004年に復職しました。患者さんの日常生活に寄り添い、患者さんの「楽しい」を一緒に楽しんで、そして「つらい」も一緒に経験することは、やりがいを感じ、充実した毎日でした。しかし、患者さんの「楽しい」を増やすために自分にできることはないだろうか、また、専門的コンピタンスをキャリアアンカーとしていたので、2009年に認定看護師の資格を取りました。

Q. 現在のお仕事内容を教えてください

A. 昨年の春から病棟師長になりました。何が正しいのか、どのような師長を目指すのか、迷い悩みながらの毎日です。患者さんやご家族に寄り添う時間が減り、寂しく思うこともあります。しかし、スタッフが安心して緩和ケアに集中できるよう、体制や環境を整えることが今の自分の役目だと思っています。まだまだ至らない点ばかりですが、多くの人に支えられています。

病棟の業務以外にも積極的に取り組んでいます。院内の認定看護師と一緒に「緩和ケア・看取りについて一緒に考えてみませんか」を毎年開催しています。また、ELNEC-Jや宮城県リンクナース養成研修での講義やファシリテーター、岩手医科大学認定看護師養成研修の実習指導など、院外との繋がりも大切にしています。

Episode talk わたしの心に残る患者さんとの思い出

Sさんは、いまの時間がつらく、はやく逝ってしまいたいと涙されていました。座って色々お話を伺うと、少しずつSさんの表情が和らぎ、「いつかはみんな逝くから急がなくてもいいのかな」とおっしゃいました。「私もあとから逝くから待っていてくださいね」と言うと、Sさんは「お花畑をきれいにして待っている。待ち合わせはどこにしようね(笑) コスモスが好きだからコスモスが目印ね」と笑顔を見せてくださいました。毎年コスモスが咲く季節になるとSさんの笑顔を思い出します。Sさんに「寄り添い、傾聴することの大切さ」を心の底から実感させて頂きました。

第7回地域講座開催

昨年7月に第7回地域講座「緩和ケア・看取りケアについて一緒に考えてみませんか」を開催致しました。3年ぶりの開催となりましたが、地域の病院や在宅医療、福祉に携わる様々な職種の方が25名参加され、ACPに関する困りごとや、それぞれの想いを熱く語ってくださいました。認定看護師チームでも、「オンラインのほうがよいだろうか」、「講義だけにしたほうがよいだろうか」など悩みながら企画をしました。しかし、ご参加いただいた皆さんから「久しぶりの対面での研修はよかった」というご意見をたくさん頂きました。手軽なオンライン研修もよいのですが、やはり直接会って話し合うことでしか得られない学びがあると思います。今後も定期的に地域講座を企画していきますので、興味のある方は是非ご参加ください。

当院のホスピスは 開設25周年を 迎えました

1998年に宮城県では初めての緩和ケア病棟（ホスピス病棟）が当院に開設され、早25年となります。開設から2,600名以上の患者さんが入院され、多くの方との出会い、お別れを経験してきました。患者さん一人ひとりの人生の最後に立ち会えたこと、ご家族との思い出を大切に、私たちスタッフは、患者さんやご家族に寄り添う医療を提供していきます。今後とも何とぞよろしくお願い致します。



▲昨年10月13日にホスピス25周年記念講演会が宮城野区文化センターパトナホールにて開催され、地域の医療関係者や多くの市民の方に参加していただきました。

ご相談はこちら 光ヶ丘スペルマン病院地域医療連携室 TEL:022-298-8580(直通) FAX:022-298-8583(直通)

交通アクセス



バスでお越しの方

- 仙台駅前ロフト南側（27）バス停より
鶴ヶ谷7丁目行き保健環境センター前下車 徒歩5分
- 仙台駅前ロフト南側（27）バス停より
中江・二の森経由・東仙台営業所行き
東仙台4丁目バス停下車 徒歩1分



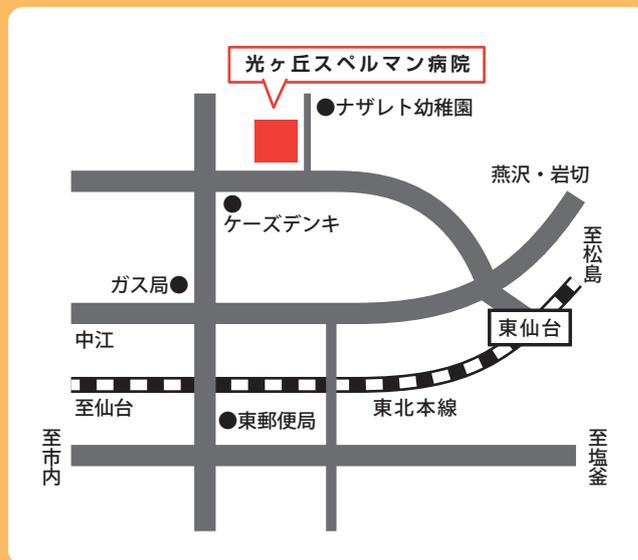
JRでお越しの方

- 東仙台駅下車、徒歩：10分 タクシー：3分



お車でお越しの方

- 利府方面からお越しの方
利府街道、東仙台2丁目交差点を右折し約500m先右手です
- 仙台駅方面からお越しの方
45号線を苦竹方面に進み、坂下交差点を左折、
約1.3km直進し、柝江交差点を右折後、約300m先左手です



編集 後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年5月に新型コロナウイルスが5類へと移行されてから、観光客が大幅に増えるなど、社会経済活動が活発になっています。私の息子の小学校でも運動会や音楽発表会などの参加に制限がなくなったり変化がありました。今後も、暮らし、仕事、教育、娯楽といった人の営みに良い変化をもたらしながら皆さんの生活がコロナ禍以前のように戻ることを望んでいます。

本年もよろしくお願い致します。

(地域医療連携室 / N.S.)

一般財団法人 やまとコミュニティホスピタル 光ヶ丘スペルマン病院

URL <https://spellman.or.jp>

発行・編集：光ヶ丘スペルマン病院 地域医療連携室

発行責任者：地域医療連携室 室長 田島 直美

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台六丁目7番1号

TEL: 022-257-0231(代表) TEL: 022-298-8580(連携室直通) FAX: 022-257-0201(代表) FAX: 022-298-8583(連携室直通)

